

美術博物館の催し



特別展 『植松奎二 みえないものへ、 触れる方法 — 直観』



一貫して重力、引力といった見えない力の法則から世界の構造・存在・関係をよりあらわにしてきました。植松の作品と直観で対話し思考を深め、この世界を新たに認識する方法を探っていきます。

■期間 3月13日～5月9日

アーティストトーク

「みえないものへ、触れる旅」

1969年から続く作家活動や作品についてお話したあと、展示室にてツアートークを行います。



■日時 3月20日(土・祝)午後2時～4時 ■会場 展示室
ほか ■定員 50人 ■講師 植松奎二氏

【問い合わせ】美術博物館 ☎38-5432/FAX38-5434 (〒659-0052 伊勢町12-25) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般700(560)円、大高生500(400)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

おとなのための「言葉ともものと行為に 触れる楽しいワークショップ」



2019年のワークショップ準備風景

言葉から直感的に思いついたことをイメージし、身体を使った行為をとおして、形にする楽しいワークショップを行います。

■日時 3月28日(日)午後2時～4時
■会場 体験学習室ほか ■対象 高校生以上20人 ■講師 植松奎二氏 ■申し込み

3月14日までにイベント名・氏名・住所・連絡先を電話またはEメールで右記へ。応募多数抽選。

植松奎二 映像作品の上映会

植松奎二氏が制作した1970年代から2010年代の映像作品14点を一挙公開・上映します。

■日時 3月13日・27日(土)午前10時～午後5時 ■定員 50人



《Degree - Light Performance for Heidelberg》1981 *映像作品

「芦屋の歴史と文化財展」



会下山遺跡出土の弥生土器

芦屋の歴史を古代・中世・近世・近代に分け、それぞれの時代の歴史資料を紹介します。国史跡指定10周年を迎えた会下山遺跡の展示なども行います。

■期間 3月13日～11月21日
■会場 歴史資料展示室

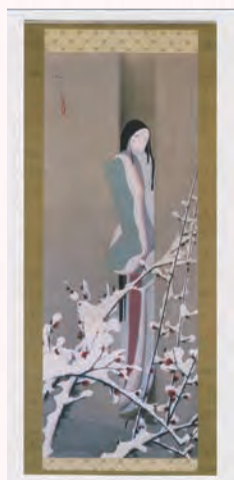
谷崎潤一郎記念館の催し



春の特別展

「美の文豪、潤一郎」

谷崎潤一郎のお気に入りの美術品たちは、彼の美意識・審美眼を見事に浮き上がらせています。谷崎ゆかりの数多くの名画・名品を贅沢に展示し、さまざまな角度から「美の文豪」の世界に迫ります。



北野恒富「雪の朝」

■期間 3月13日～6月6日

【問い合わせ】谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244/ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-15) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 3月8日～12日展示入替休館 【観覧料】～3月7日：一般300(240)円、大高生200(160)円、中学生以下無料 / 3月13日～：一般500(400)円、大高生300(240)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

新講座 「手ろくろ 陶芸講座」

信楽の土を使い、オリジナル作品が作れます。土を全くさわったことのない初心者の方も大歓迎。いろいろな技法があるので、経験者も満足できる講座です。



林理恵氏作品「かけ分け飯碗」

■日時 4月9日から(毎月第2・第4金曜日)午後1時30分～午後4時
■会場 講義室 ■定員 6人(要予約) ■講師 林理恵氏 ■料金 10,500円(3回分) ※別途材料費 ■持ち物 エプロン



谷崎三人目の妻松子

ロビーパネル展

「谷崎をめぐる女性たち」

女性の美をこよなく愛し描いた文豪谷崎潤一郎。80年におよぶその生涯を縁どった女性たちの、色とりどりのポートレートを集めてみました。

■期間 3月13日～6月6日
■会場 ロビーギャラリー